



中村 晋作 さん (35)

[自然農法・オーガニック野菜推進委員会
第1期研修生]

南さつま 縁人 VOL.51

MINAMISATSUMA ENGINE



今年の1月に有機農家を志して本市へ移住し、市内の自然農法農家・有機農業農家の団体である「自然農法・オーガニック野菜推進委員会」指導のもと研修生として自然農法を学んでいる中村さんは、「プランターで野菜を育てていくうちに化学肥料などに疑問を持ち始め、南さつま市の自然循環型農業促進の取り組みに興味を持った」と話します。

本市では、7年前から自然農法体験学校「ありのまま分校」を開校し、有機農業をはじめとした自然循環型農業の促進を積極的に進めています。今年新たに、九州の農業系高校では2番目に広い約25畝の農地がある加世田常潤高等学校からほ場の一部を借り受け、有機農業の新規就農者の育成を行うとともに、市立学校給食センターなどに有機野菜を納入し、学校給食による食育授業を通じて有機農業への理解促進を図る取り組みなどを行っています。

中村さんは、現在、市内の有機農家ほ場の一面でナス・トマト・西洋野菜など多品目多品種を育てており、自家採種を繰り返すことでその土地の気候・風土に合う種に変化し、無肥料・無農薬で育てることができる、いわゆる「固定種・在来種」の育成を目指しているそうです。「給食を通して自分が育てた自然農法野菜が我が子の口に入ることだけでも嬉しい」と話す一方、「理想は、生産・流通・消費を全て地域でまかなえるようになること。給食の他にも地元向けに多品目野菜の年間定期便などを販売できるようにしたい」と、将来の夢を話してくれました。



南さつま市に住む、働く、生き生きと活動している人(団体)を、南さつま市の輝く原動力(エンジン)としてご紹介します。